

令和7年3月19日

保護者の皆様

松江市立八雲小学校

校長 杉谷 崇

八雲小学校学校評価のとりまとめについて(周知)

早春の候 保護者の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校教育に対しまして、ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、先日は、保護者の皆様に今年度の本校の教育活動を振り返る「学校評価」へのご協力をいただき、誠にありがとうございました。その結果、本校の強みと課題がよりはっきりとし、今後、良さはさらに伸ばし、課題は解決に向けて教職員が一丸となって取り組む必要があると感じているところです。

つきましては、学校評価の集計結果は、後日「八雲小学校 HP(ホームページ)」に載せる予定にしておりますので、ぜひご覧いただき、学校と保護者が思いを共にして今後のこどもたちの育成につなげていくことができたかと考えております。

今後とも、本校のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【学習意欲を喚起し、学びに向かう力の向上】

○この観点については、「特別支援教育の充実」の項目で良い結果でした。これは、児童の思いや声を大切にしたい学習展開の工夫、そして、児童一人一人の支援の在り方について校内で研修や共有を図ってきた結果であると考えています。今後も個の支援の充実を図るために、複数教員での授業や個別の取り出しの授業等を積極的に取り入れたり、児童のわかりにくさに寄り添った学習展開のさらなる工夫をしたりする必要があると考えています。

○「学力向上」については、児童は高い結果でしたが、保護者及び教職員は高いとは言えない結果でした。これについては、今年度の研究の柱に据え、「教員の授業力の向上」「児童の対話力の向上」「家庭学習の充実」を推し進めてきたところでしたが、未だ十分ではないことが明らかとなりました。前述三項には今後も引き続いて注力すると共に、「自学」を推奨し、「自学コンクール」等を設定することで、児童の学ぶ意欲の喚起、学力向上へとつなげていきたいと考えております。

○図書館活用の充実は、昨年度同様、三者共に低い結果となりました。今後は学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能を再度捉え直すと共に、「読書の日」の設定や異学年児童同士の「読み聞かせ」等にも取り組んでいく必要があると考えています。

【人権尊重・人権尊重に徹した豊かな心の向上】

○この観点についてはほとんどの項目で良い結果でした。中でも、「学校行事の充実」の満足度が高く、今後も引き続いて充実させていきたいと思っております。併せて、委員会による集会活動の充実、異学年交流の充実も図りながら、行事を通じた児童の育成をさらに促進させたいと考えています。その中で、継続した「仲間づくり」や「思いやりの心の育成」に注力し、「自他共に大切にする児童」を育ててまいります。

【たくましく生きる力の育成】

- 学校の約束を守って過ごそう、カッコいい自分や自分たちでいようと意識して過ごす児童が増え、児童は落ち着いて学校生活を送っています。しかし、「あいさつ」に関する項目に課題があり、「自分から」あいさつのできる児童の育成、安心して自分を表現できる人間関係のさらなる育成が必要であると考えています。
- 運動をすることを楽しみにしている児童の割合がとても高く、目標に向かって取り組むことに達成感を得ている児童の姿も見ることができます。今後も学校での運動量の確保に加え、健康な体をつくるための「睡眠確保」「メディア接触」等についても小中一貫で連携して取り組んだり、PTAと連携し、学校と家庭が一緒になって取り組んだりすることの必要性を感じています。

【情報を広げる工夫をし、保護者・地域から信頼される学校づくりの推進】

- 学校からの情報発信については、教職員、保護者共に概ね良い結果でした。児童の様子や学校の様子がより伝わるように、今後も工夫を凝らし、学校、教職員、保護者が今まで以上につながるように努めてまいります。なお、来年度からは「テトル」の運用も開始することで、より伝わりやすい情報発信ができるものと考えています。
- 「学校と保護者の皆様が思いを共にしてこどもたちの育成につなげていく」ことをめざして、本校HPで児童の活動や学校の様子を随時、配信いたしました。保護者の皆様からも良い評価をいただくことができたことは、たいへん喜ばしいことでした。ご覧いただき、誠にありがとうございました。来年度も積極的に配信してまいりますので、ぜひご覧いただけたらと思います。
- 「ふるさとを愛する子どもの育成」をめざして、八雲の宝である「ひと・もの・こと」に出会う学習を構想、実践してきました。三者共良い結果となり、ねらいの達成に向けた動きができたのではないかと考えています。中でも、多くの人とつながることができたことは、児童にとってかけがえのない財産になったと感じ、今後も計画的に続けていきたいと考えております。なお、活動の際には多くの方にボランティアとしても力を貸していただき、たいへんありがたく思いました。

【学校教育目標達成を支える基盤の充実】

- 「学校安全の充実」は三者共に良い結果となり、実際に今年度の児童の校内事故は過去と比べても減少しました。これも、安全に向けたルールの徹底に加え、児童自ら考えて行動することが増えた結果であると考えています。今後も、児童の安全確保に向けて努めていきたいと思えます。
- 「児童理解」は三者共に昨年度と比べて満足度は伸びています。しかし、不満足に感じている児童も一定数いることから、「児童の話を聞く」「児童の思いに寄り添う」等、より一層の児童理解に向けた動きが必要であると考えています。また、教育相談や面談、電話連絡や家庭訪問等も引き続き行うことで、児童に安心を感じさせ、児童とのつながりを確かなものにしていく必要があると考えています。